

# 学校運営協議会のしおり

～学校・地域と共につくる子どもたちの未来～

保存版  
理事・企画推進委員用

このしおりは、学校運営協議会の活動をより一層充実させ、子どもたちの学びと育ちの充実と地域の活性化につなげていただきたいという思いで作成しました。

本市では、学校の自由参観、学校だより、各校園のホームページや行事等の動画配信による積極的な情報発信をはじめ、地域の方による特別授業や見守り活動、学校評価などに加え、全国に先駆けて学校運営協議会を設置し、「地域に開かれた学校づくり」を推進してまいりました。

「地域に開かれた学校づくり」は、学習指導要領の柱の一つである「社会に開かれた教育課程」（8ページ参照）とその目的を一にするものであり、今後とも、学校と地域がお互いの情報や課題を共有し、共通の目標の下でそれぞれが主体性をもって、未来を担う子どもたちを共に育ていく「学校運営協議会」の活動に一層のお力添えをお願いいたします。



## 学校運営協議会が活性化すると、どんな良いことがあるんだろう？

### 子どもにとって



- ・ 学びや体験活動が充実し、そうした活動を通して、自分自身を大切にする気持ちや、他人を思いやる心が育ちます。
- ・ 「地域の中で何か自分も役に立ちたい」という気持ちが芽生えます。
- ・ 見守り活動などの学校と地域の方々との日常的な関わりが、子どもたちの命や安全を守ることに繋がります。

### 保護者にとって



- ・ 学校や地域に対する理解が深まり、「地域の方々に見守られながら、子どもたちが育てられている」という安心感が生まれます。
- ・ 地域の中で仲間が増え、お互いの理解が進んだり、豊かな人間関係を築いたりすることができ、地域への愛着につながります。

### 地域にとって



- ・ 地域のネットワークが強くなり、次世代の地域人材の育成につながります。
- ・ 経験を生かすことで、生きがいややりがい生まれます。
- ・ 学校が地域の核となり、地域の課題解決や持続可能な地域づくりに繋がります。

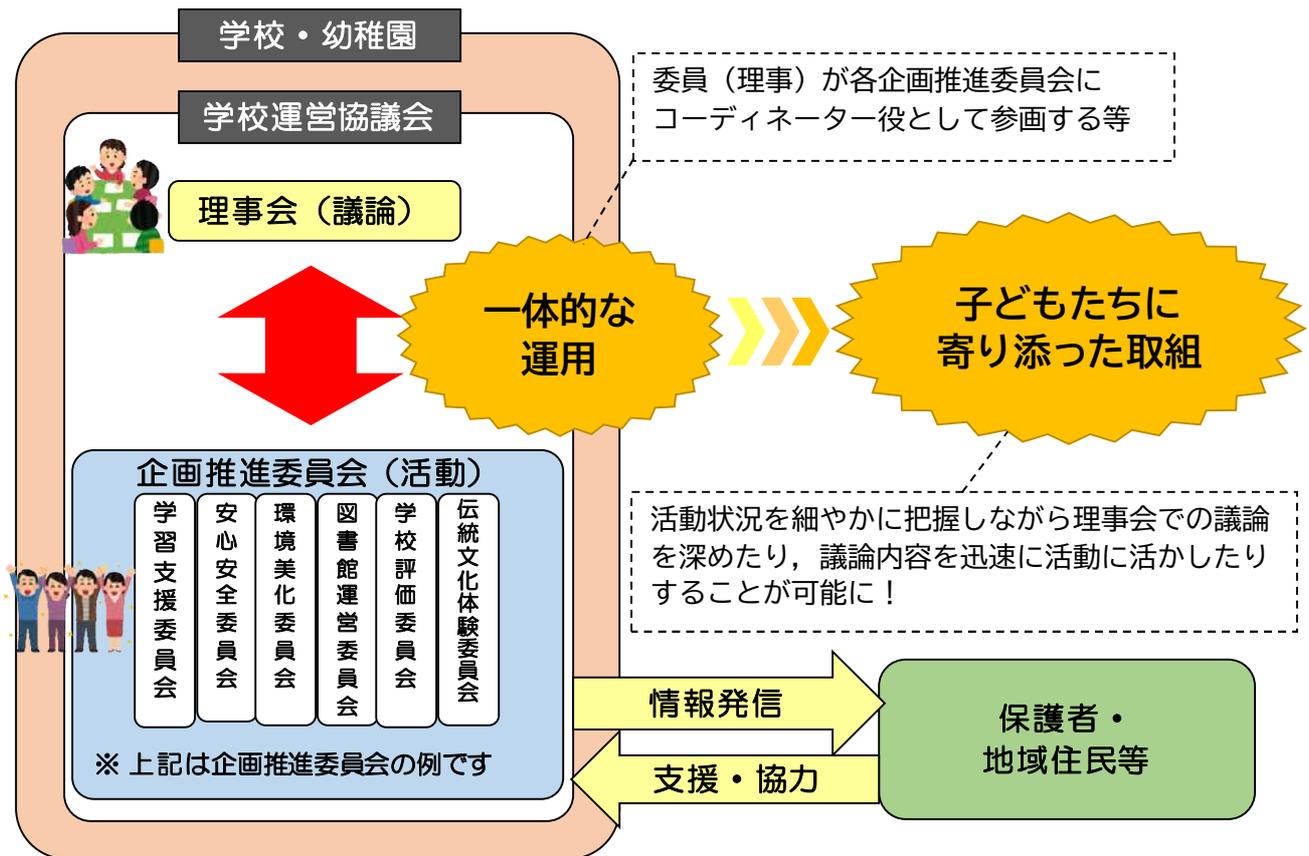
じゃあ、学校運営協議会ってどんな組織なんだろう？早速見てみよう！



# 京都方式とは

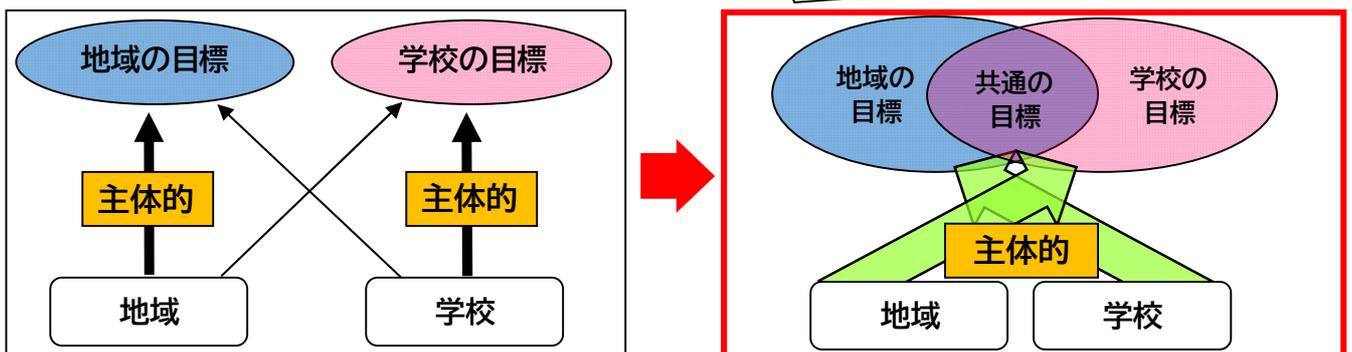
本市には、「地域の子どもは地域で育てる」という、明治初めに全国に先駆けて番組小学校を創設した町衆の思いが息づいています。以来、その思いを受け継ぎ、京都ならではの「はぐくみ文化」のもと、子どもたちを社会全体で温かく包み、育んできました。

「京都方式」の学校運営協議会は、議論する「理事会」とその議論を踏まえ実際に行動する「企画推進委員会」を一体的に運用することで、学校・地域の結びつきがより強くなり、「子どもたちの学びと育ちのために」という目標がより明確化されることが最大の特徴です。



## ポイント 「京都方式」で学校と地域が共通の目標を持って取り組むと……

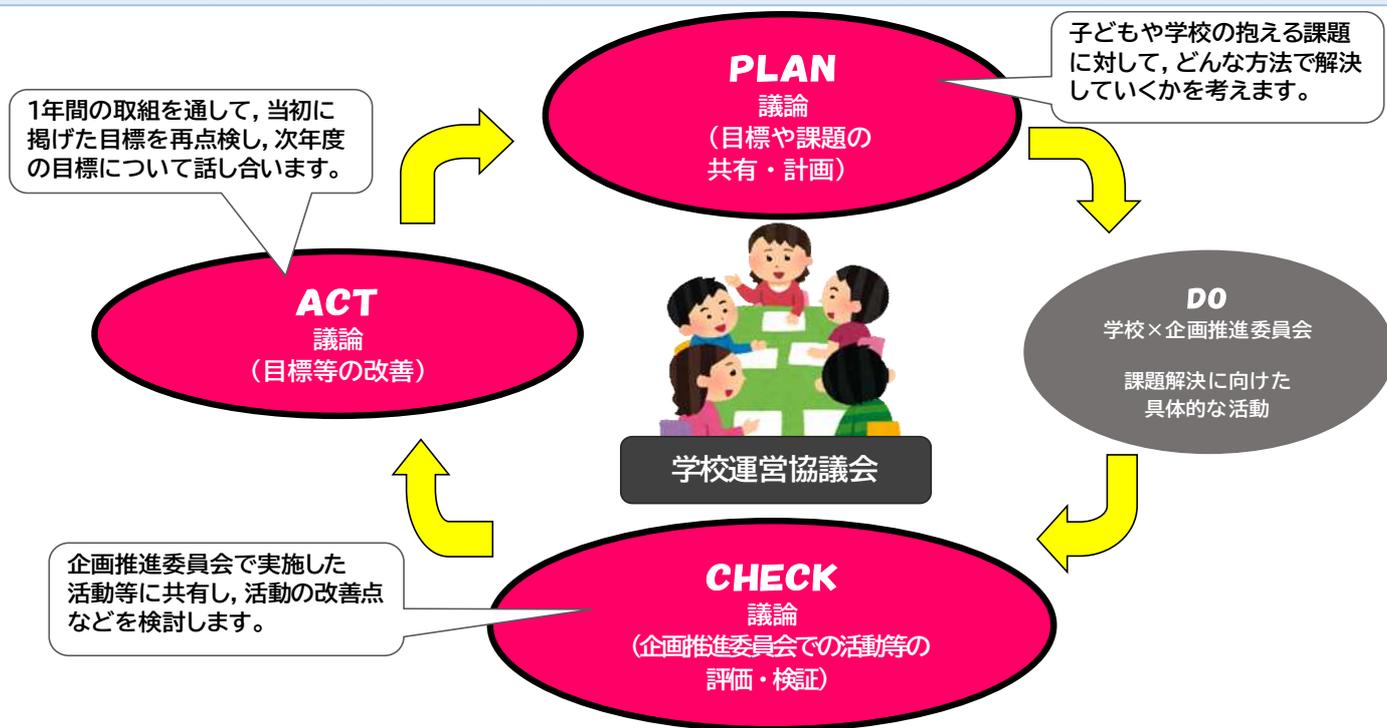
学校運営協議会が、学校と「こんな子どもたちを育てたいね」という目標を共有しながら協働活動を進めることができるため、より効果的に子どもの学びや育ちを支えることができます。



なるほど～！ 理事会や企画推進委員会のそれぞれの役割を知りたいなあ。

# 理事会とは

「学校教育目標」や「目指す子ども像」等をはじめとする「学校運営の基本方針」を承認するとともに、学校や子どもたちが抱える課題を解決するための方策を議論する組織です。理事の任期は4月～翌年3月までの1年間で、教育委員会が任命する地方公務員となります。



## 教えて! Q&A

**Q. 理事会ではどんなことを話し合うの? どういう意見を言ったら良いの?**

A. 理事会では、「どんな子どもたちを育て、どんな地域にしていきたいのか」を議論し、企画推進委員会等の具体的な活動につなげることが大切です。理事の皆様それぞれから、御自身の経験を踏まえた「得意」を生かし、多面的な視点で忌憚のない御意見をいただければと考えています。また、「自分たちが行動できること」についても議論し、具体的な活動につなげていただきたいです。

朝の通勤途中、登校する子どもたちを多く見かけるなあ。おしゃべりに夢中になって、走ってくる車に気付かずぶつかってしまいそうな場面も……。

子どもたちに「おはよう」の挨拶をしながら、「車に気を付けてね」という声掛けも意識してやったほうがいいね。

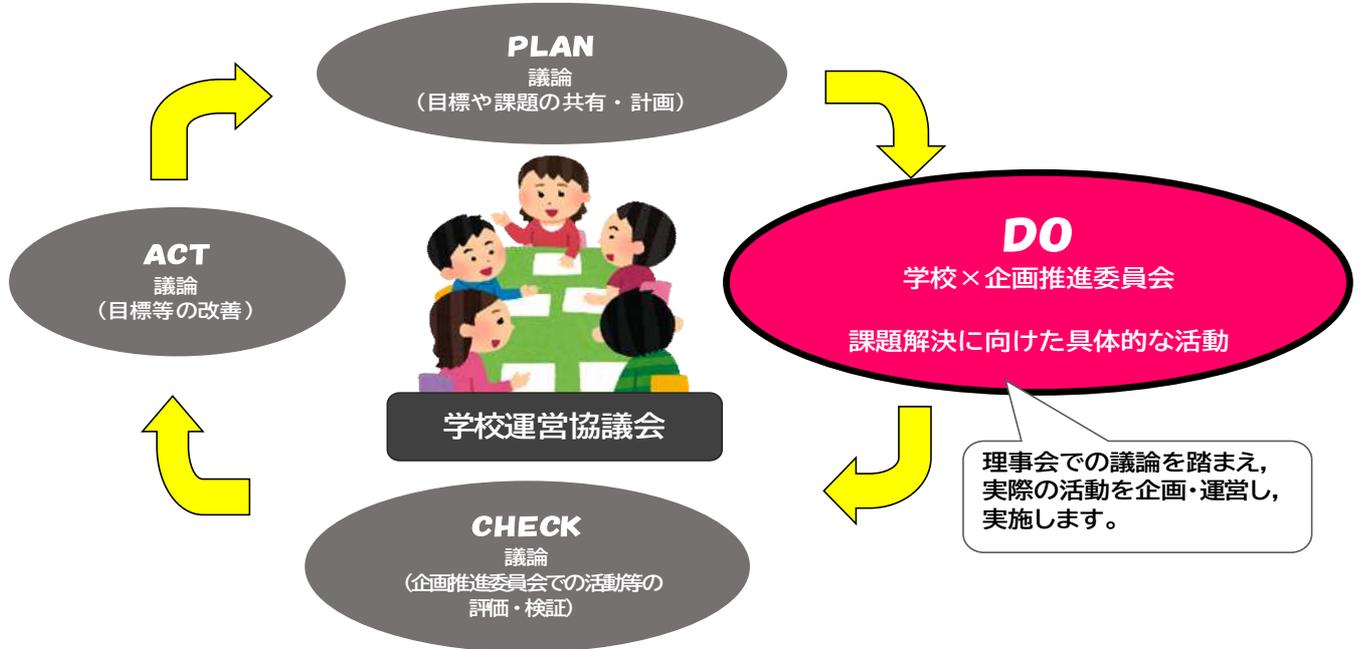
理事会

そうだね。通学路の見守り担当にも伝えよう。学校運営協議会で「子どもたちへの挨拶や交通安全のための声掛けに御協力ください」というお便りも作って、各町内会の回覧板に入れてもらえるよう、会長さんをお願いに行ってみよう!

回覧板

# 企画推進委員会とは

理事会での議論を踏まえ、地域として学校とともにどのような具体的活動に取り組むかを協議し、企画・運営する組織です。（学校運営協議会の「〇〇部会」「〇〇委員会」という言い方で設置されていることが多いです。）活動内容の検討・企画をはじめ、活動場所や協力していただける方の手配、当日の運営等を行います。企画推進委員の任期は委嘱日～翌年3月までで、校長先生や園長先生が委嘱します。



## 教えて! Q&A

**Q. 学校や幼稚園が抱える課題って、その時々によって変わっていくのでは？**

A. そのとおりです。子どもの学び方や大人の働き方、社会の仕組みも、大きく変わりつつあります。そのため、必要に応じて企画推進委員会の取組や組織の在り方を見直すこともとても大切です。

**Q. ずいぶん前から行っている活動もたくさんあるけど、企画推進委員会との関係は？**

A. これまでから活動されてきた見守り隊や放課後まなび教室、地域生徒指導連絡協議会等を企画推進委員会の組織として整理することで、活動同士の連携が深まるとともに、会議、活動、行事等に重なりが無くなり、より効率的・効果的な活動を進めることができます。

1人1台パソコンを持ったり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が必要になったり……学校の様子や子どもたちの学び方も変わってきたなあ。今の取組や活動が子どもたちや学校の実態に合っているか、見直してみよう！



## <参考・企画推進委員会の例>

企画推進委員会名	活動内容
学習支援委員会	学習（授業）支援や放課後学習など、学力向上を目的とした活動、キャリア形成を支援する活動
安心安全委員会	登下校の見守り活動や自転車教室、パトロールなど、安全体制等の強化を目的とした活動
環境美化委員会	花壇の整備や草刈り、校内の清掃・遊具の塗装など、学校施設の環境美化を目的とした活動
図書館運営委員会	読み聞かせや本の整理など、読書に親しめる環境づくりを目的とした活動
学校評価委員会	学校アンケートの質問項目の検討など、学校評価の充実を目的とした活動
伝統文化体験委員会	茶道や華道、着物の着付けをはじめ、地域に根付く伝統文化体験など、地域への愛着を高めることを目的とした活動

## 学校運営協議会の取組例 (各校園の取組例に掲載している写真は、令和2年度またはそれ以前のものです。)



校長

子どもたちのために緑を増やして校内をもっと明るい雰囲気になりたいのですが、花壇や学校の環境整備になかなか手が回らなくて。水やりも管理も大変で……

…… 理事会での議論 ……

子どもたちには、緑がいっぱいの豊かな環境の中で、たくさん学んでほしいですね。ガーデニングが得意な人も地域にいらっしゃるので、夏休みを中心にみんなで緑を増やす取り組みをしてみませんか！



理事会

### 企画推進委員会の活動

夏休み中の1週間程度 (※学校閉鎖日) は先生がお休みだから、地域の人々で交代で水やりしよう。

あ！雑草！雑草も抜いて、学校をきれいにしておこう。



(※) 学校閉鎖日とは：教職員の健康増進のために年休取得を促進する日のことです。

ここに花壇を作ったら子どもたちも毎日お花に触れられるね。

地域や保護者の皆様から広くボランティアを募集することも子どもたちや学校への大きな支援につながります。できることからはじめてみましょう！

### 社会に開かれた教育課程の実現に向けた取組

#### 【深草幼稚園学校運営協議会 (なかよし会)】

昔遊び・絵本の読み聞かせ・稲荷山や地域の竹林への園外保育の引率等の保育活動に参画し、子どもたちの地域に親しむ気持ちを育てています。これらは園の教育課程にも位置付けられており、持続的な地域との協働活動として子どもたちの豊かな学びと育ちを支えています。



#### 【山階学校運営協議会 (あいあい山階)】

企画推進委員会の一つである「学びを拓く委員会」が中心となり、生活科の授業で「地域の先輩」として子どもたちに遊びやものづくりを優しく教えたり、総合的な学習で地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、子どもたちにお話しいただく等の活動を実施しています。

#### 【京都大原学院学校運営協議会】

小中一貫した9年間で取り組む「地域に貢献するキャリア教育」において、地元寺院での清掃体験や百井への登山・草木染め体験等、各学年の学習を学校と協働して行っています。9年生による地域課題解決のための提言会では、子どもたちへのアドバイスや地域への広報活動を行い、実現可能な提言内容は自治会等で実際に活用できるようにしています。



## 社会に開かれた教育課程の実現に向けた取組

### 【塔南高等学校学校運営協議会】

地域と学校が協働し、生徒の探究活動やキャリア教育の充実に取り組んでいます。理事会では、生徒の代表が取組内容の発表や地域課題の解決策を提案し、理事と意見交換を行う等、対話から多様な視点を得る機会を設けています。生徒の提案を「防災ボランティアリーダー育成事業」として実現させ、社会貢献の取組にも繋げています。

また、理事には企業・大学からも参画いただき、生徒が訪問する企業・大学をつなぎ、生徒が学ぶことと社会とのつながりを実感し自分の将来の姿を考える取組を支援する等、地域や外部機関とも連携しながら、活動を進めています。



### 【東山総合支援学校学校運営協議会】

教育課程の軸である地域協働活動を学校とともに推進しています。理事会では、生徒のキャリア発達の視点から地域社会・企業との協働について議論し、それらをもとに、2つの企画推進委員会「地域協働プロジェクト」「交流農園運営プロジェクト」が中心となり、地域にお住まいの方々への配食サービス、交流農園「ぼかぼかファーム」の企画運営や日常の学習活動に取り組むことで、生徒の自己肯定感や働く意欲の向上につなげています。



## 教職員の働き方改革につながる取組 ～子どもを真ん中にした様々な活動～

### 【梅小路小学校学校運営協議会（梅っ子パートナーズ）】

子どもたちの力走を支えるマラソン大会での安全確保、どんどん本を読みたくくなるような学校図書館の書架整理、草抜き・水やり・花植え・掃除をはじめとした校内の環境美化活動などに企画推進委員会が協力し、教職員が一人一人の子どもに向き合う時間を確保することを応援しています。



## 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組 ～ICTを活用した教育活動支援～

### 【朱雀第二小学校学校運営協議会】

企画推進委員会「学びを拡げる委員会」のなかで子どもたちの読書活動支援を担当する「ヨムヨム」が中心となり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、読み聞かせ動画を作成し、子どもたちがその動画を教室のモニターで視聴できるようにしています。



感染拡大防止のため  
動画で読み聞かせ



# 小中合同による学校運営協議会

## 注目! 小中合同による学校運営協議会 ～地域ぐるみの小中一貫教育～

本市では、中学校区内の小学校と中学校（義務教育学校においては前期課程と後期課程）の9年間を一貫した教育として行えるよう、全ての中学校区で校区の状況に応じた小中一貫教育を実施し、「中1ギャップ」の解消をはじめ、子どもたち一人一人の可能性を最大限に伸ばせるよう、教育活動を推進しています。

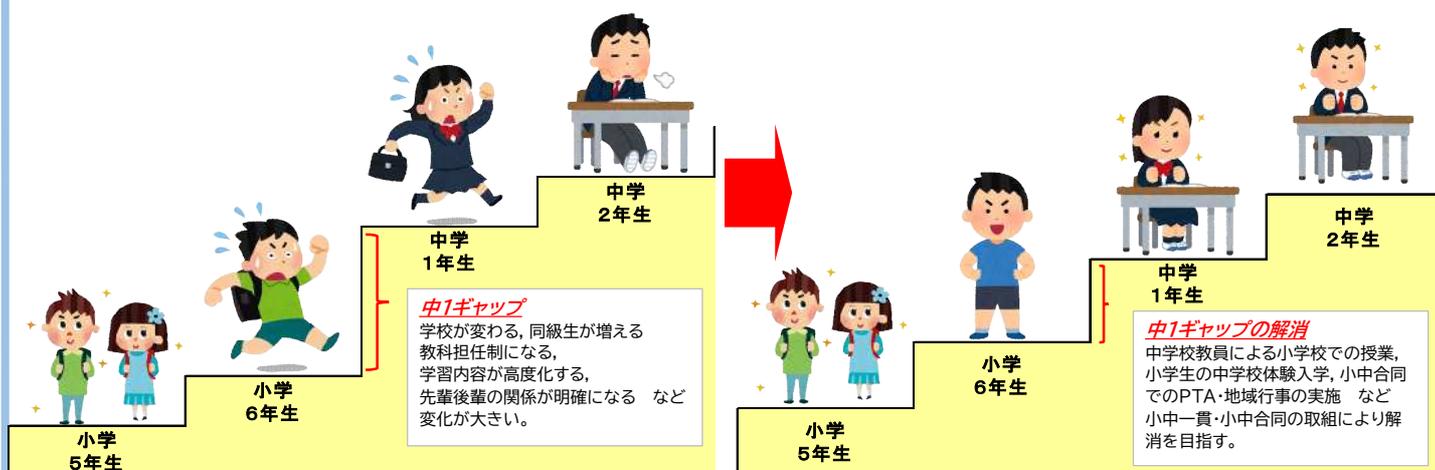
学校運営協議会においても、9年間の子どもたちの学びと育ちについて共通理解して教育活動を地域ぐるみで実施するため、小中合同による学校運営協議会の設置・運営を積極的に推進しています。現在では半数を超える中学校区で設置しており、全中学校区で設置することを目標にしています。

※ 小中合同による学校運営協議会とは、小学校と中学校で一つの理事会を運営したり、小学校・中学校の代表者が集まって会議を行うなど、小学校・中学校の学校運営協議会同士で連携を図っている状態・形態を指します。



## 小中一貫教育による中1ギャップ解消のイメージ

子どもたちが小学校から中学校へ進学する際、新しい環境での学習や生活に不応を起す、いわゆる「中1ギャップ」と呼ばれる現象に陥り、不登校等の生徒が増加する傾向にあります。小中一貫教育はこうした状況を解消することも、ねらいの一つとしています。



## 教えて! Q&A

Q. 小中合同による学校運営協議会ではどんなことを話し合うの？

A. 中学校区単位で子どもたちの9年間を見据えながら、どんな子どもたちを育て、どんな地域にしていきたいのかを議論していきます。自校の内容だけでなく、中学校区内の他の小学校の様子も含め、小学校・中学校の分け隔てなく議論していくことが、より良い小中連携・小中連携につながります。

【小中合同による学校運営協議会の取組例】

☞ 学校評価アンケートで、中学校区の学校で共通して「毎日進んで挨拶できているか」「家で本を読んでいるか」という項目を設け、学校間での違いや共通点、地域や家庭で子どもたちにどのような声掛けをしたらよいか等を議論する。

☞ 中学校区として防災訓練を実施し、地域全体で防災意識を高め、災害に対処する方法を共有する。 など

その中学校区に  
相応しい取り組み方  
を考えるのも  
良いかも!



## <参考> 社会に開かれた教育課程とは

将来、社会を担う子どもたちに「求められる資質や能力(何ができるようになるか)」を明確にし、それを学校と社会(地域、保護者、企業等)が共有したうえで、お互いに連携・協働しながら、目指すべき学校教育を通じてよりよい社会を実現するという、学校教育の基本的な内容を定めた理念です。

～なぜ、今「社会に開かれた教育課程」の実現が求められるのか?～ (文部科学省 HP より引用)

社会のつながりの中で学ぶことで、

子供たちは、自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感を持つことができます。

このことは、変化の激しい社会において、子供たちが困難を乗り越え、

未来に向けて進む希望や力になります。

そのため、これからの学校には、社会と連携・協働した教育活動を

充実させることがますます求められます。



夢や目標を描いて、自ら学び、仲間とともに考え、  
行動につなげられる子どもに育ててほしい!

地域の伝統と文化を受け継ぎながら、  
地域のことを大切に思ってくれる子どもに育ててほしい!



社会や家庭の中で自分の役割を果たしながら、  
自分らしい生き方を追求する子どもに育ててほしい!

こうした思いを学校、保護者、地域で共有しながら  
実現へ向けて協働するのが「学校運営協議会」の大切な役割です

京都市教育委員会事務局 生涯学習部 学校地域協働推進担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町 549

電話：075-251-0456 FAX：075-251-0449

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000038884.html>



京都市  
CITY OF KYOTO



本文や図には見やすいユニバーサルフォントを採用しています。